



スペシャリスト

薬のSpecialist薬剤師

薬は正しく使用しないと、効果が弱くなったり、副作用が強く出たりすることがあります。薬剤部では薬剤師が薬の専門家として、薬が正しく使用されているか、嚴重にチェックを行い、適切で安全な治療がうけられるようにサポートしています。

当院には、各病棟に専任の薬剤師がおり、入院患者さんのベッドサイドで、薬の説明や相談、副作用がでていないか、正しく薬が服用できているかなどの確認を行い、薬が適切に投与できているかチェックしています。また、医師や看護師などほかのスタッフへ薬の情報を伝えたり、薬についての相談を受けています。入院中に、薬に関して聞きたいこと、心配なことなどありましたら、担当の薬剤師がいますので、お気軽にご相談ください。

また、医療が高度化・複雑化していくなかで、薬剤師にも様々な分野で認定制度があります。当院では、がん治療・感染治療・栄養療法など様々な領域の専門・認定薬剤師がおり、それぞれの分野で活躍しています。詳しくは当院ホームページに掲載してありますので、興味のある人は是非ご覧ください。



碧南の歴史へのいざない

問 文化財課内市史資料調査室
☎(41)4566

No.64 はるか昔の大浜^{みなと}湊(1)

四方を海に囲まれている日本の国は、早くから水上交通が盛んでした。瀬戸内海、伊勢湾、三河湾、琵琶湖は、特に水上交通が発展していました。

碧南市域にあった村は、ほとんどが海に面する村で、大浜、鷲塚、棚尾、西端も海に面していました。それぞれの浜辺では塩作りが行われていたことが分かっています。

市内の神社の由緒には、海との関わりが、次のようにあります。①朝廷による軍船づくりの残木で村人が舟を造り、伊勢神宮をお参りした(神明社：笹山町) (天満社：天神町) ②嵐の船中で熊野権現に祈願した源頼義(頼朝の先祖)は、無事大浜に着くことができた(熊野神社：大浜上町) ③昔、紀州熊野権現から勧請した(熊野大神社：宮町) ④村の起り(かんじょう)は漁業航海中この地に漂着した伊勢の住人によるものである(秋葉社：松江町) ⑤伊勢航海で嵐に遭遇した村民が住吉大明神の御加護で九死に一生を得ることができた(住吉社：住吉町) などです。

大浜村の湊は、三河でも相当古くから重要な湊であった可能性があります。古文書には「港」の文字ではなく、舟が集まる穏やかな場所としての「湊」の文字が使われているので、この文中では湊と表現することにします。

大浜湊は、現在の大浜漁港の場所(堀川河口)だけと思われがちですが、大浜村の湊はすべて大浜湊と考えられていたようです。現在の新川地区は、明治16年(1883)までは大浜村でした。鶴ヶ崎、松江、新堀川(新川)河口の湊も江戸から見れば三州大浜湊と認識されていたのです。

『延喜式』という平安時代の本には、三河の国は都へ塩を納める国として書かれています。この時代の^{しきのしょう}大浜湊は志貴荘の年貢や塩の積出湊であったと推測されています。



△大浜上の宮熊野神社古図絵(木版) 碧南市所蔵